# みちくるべ

手稲東中学校だより
第６号　令和８年11月20日
札幌市立手稲東中学校
札幌市西区西野２条５丁目３番１号
電話 661−3363　FAX 661−3858
ホームページ http://www.teinehigashi-j.sapporo-c.ed.jp/

## 令和８年度 全国学力・学習状況調査の結果から

今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果分析についてお知らせいたします。国語・数学・英語の３教科については「本校の概要」「今回の調査における課題」「改善の方向」を整理いたしました。
全教科・全領域において全国および北海道公立中学校の平均水準（平均正答率・IRT スコア）を上回る成果が見られましたが、「課題」については本校として「さらに伸ばしていきたい重点事項」として捉え、今後の授業改善に生かしてまいります。
※測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解願います。
【記号の意味（対全国平均正答率・標準基準）】
（△）全国平均を上回っている（＋3%以上）　ほぼ同程度（±3%未満）
（◇）やや上回っている（＋1～3%）　（◆）やや下回っている（−1～3%）　（▼）全国平均を下回っている（−3%以下）

## 【中学校国語】

| 【本校の概要】 | 【今回の調査における課題】 | 【改善の方向】 |
|---|---|---|
| **【言葉の特徴・使い方】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 漢字の書きおよび語句の組み合わせ。<br>□ 文脈に合わせて正しく漢字を書き、語句を文章の中で適切に活用すること。 | 国語辞典の活用や語句調べなどを通じ、新しく出会った言葉の意味を正しく理解し、会話や文章の中で活用する活動を充実させる。 |
| **【情報の扱い方】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 情報と情報との関係をとらえ、自らの意見を整理・再構成して具体的に記述すること。 | タブレット端末等を活用し、整理された情報を比較・分析しながら、根拠を明らかにして自分の考えを深められるよう指導する。 |
| **【話すこと・聞くこと】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 目的や場面に応じて話合いの展開を捉え、相手の考えを尊重しながら効果的に発言・表現すること。 | スピーチやグループディスカッションにおいて、自分の意図や根拠が相手にわかりやすく伝わるよう構成を工夫できるように指導する。 |
| **【書くこと】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良さや改善点を見出して練り直すこと。 | 自分の考えを裏付ける根拠を明らかにし、他の人の意見をもとに練り直し、さらに深める活動を充実させる。 |
| **【読むこと】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 辞書的な意味を踏まえ文脈上の適切な表現を抜き出すこと<br>□ 擬態語の表す具体的な様子とその効果を文章の叙述に基づき正しく説明すること。 | ・ 文章全体の構造や展開に着目し、筆者の考えを支える根拠を客観的に把握できるようにする。<br>・ 擬態語や対比などの表現技法の効果について、本文中の記述を引用・根拠づけながら言葉で説明・記述する学習を進める。 |

## 【中学校数学】

| 【本校の概要】 | 【今回の調査における課題】 | 【改善の方向】 |
|---|---|---|
| **【数と式】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 式の意味を読み取り、成り立ちや性質を、文字を用いた式を使って統合的・発展的に説明すること。 | 具体的な数値の検証から文字式への一般化を図り、事柄の特徴や理由を数学的な表現を用いて説明する学習活動の充実。 |
| **【図形】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 平行条件となる根拠の角を見出すこと。<br>□ 筋道を立てて三角形の合同を証明すること。 | 図形の基本的な性質や合同条件を再確認し、仮定から結論に至る思考の筋道を順序化して記述する学習活動の充実。 |
| **【関数】**<br>△ 全国平均を上回る | □ グラフや表から読み取った関係を日常の事象に即して解釈し、問題解決の方法を自らの言葉で説明すること。 | １次関数等の表・式・グラフを相互に関連付けて捉え、変化の割合や対応関係の意味を考察・説明する活動の充実。 |
| **【データの活用】**<br>△ 全国平均を上回る | □ 二つの度数分布多角形の形や位置を比較・分析し、主張の理由を根拠に基づいて説明すること。 | 箱ひげ図や度数分布表などの複数のデータ表現の特性を理解し、分布の傾向を考察・判断して根拠を説明する学習活動の充実。 |

## 【中学校英語】

| 【領域・本校の概要】 | 【今回の調査における課題】 | 【改善の方向】 |
|---|---|---|
| 【聞くこと】<br>△ 全国平均を上回る | □ 日常的・社会的な話題に関する話を聞き、必要な情報や要点を正確に聞き取るとともに、話し手の意図を捉えること。 | 多様な音声教材を活用し、目的や状況に応じて必要な情報を選択的に聞き取ったり要点をメモしたりする学習を進める。 |
| 【読むこと】<br>△ 全国平均を上回る | □ 社会的な話題に関する文章を読み、書き手の主張やまとまった内容の要旨を正確に理解すること。 | 事実と意見を区別しながら文章全体を読み進め、読んだ内容に基づいて自分の考えを深めることができるようにする。 |
| 【書くこと】<br>△ 全国平均を上回る | □ 自分の考えや意見を書くだけでなく、その理由や具体例を「Because…」等を用いてまとまりのある文章で書くこと。 | 主張＋理由＋具体例という論理的なパラグラフ構成を意識させ、教材も活用したまとまりのある英文ライティング学習を進める。 |
| 【話すこと（やり取り・発表）】<br>△ 全国平均を上回る | □ 即興的なやり取りにおいて理由や具体例を補足して話すこと。<br>□ 家庭において ICT 機器を活用した英語の音声聞き取りや話す練習の習慣化。 | ・ ペア・グループでの継続的な問答・意見交換活動の実施。<br>・ １人１台端末を活用した家庭での音読・発音練習と授業の連携を図る。 |

## 【生徒に対する質問紙調査結果から】

1. 肯定的な回答の割合が特に高い、または全国平均と比較して高い回答が見られた質問項目

○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
○ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
○ 学校に行くのは楽しい。
○ 平日に「1 時間以上」勉強する。
○ 休日に「2 時間以上」勉強する。
○ 平日 10 分以上読書をする。
○ プレゼンテーション（発表のスライド）を作成できる

2. 肯定的な回答の割合が低い、または全国平均と比較して低い回答が見られた質問項目（今後の課題）

◆ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている
◆ 同じくらいの時刻に起きている
◆ 平日のスマートフォンや動画視聴等の利用時間が「2 時間以上」
◆ 自分にはよいところがある
◆ 将来、積極的に英語を使うような生活や職業に就きたい

3. 結果の総括と今後の取組方針

**○ 確かな学力と表現力の向上**
平日や休日の学習習慣を継続して身に付けるとともに、基礎学力の定着により一層力を入れつつ、全教科において「根拠を明らかにして説明・記述する学習活動」を進めていきます。特に、どの教科でも見られる「無解答率低減」に向け、思考の可視化と解法のステップ化を推進していきます。

**○ 豊かな ICT 環境の高度活用**
生徒の高い ICT スキル（スライド作成・情報整理）を各教科の課題探究学習やプレゼンテーション活動に積極的に組み込み、主体的・協働的な学びを一層深化させます。

**○ 自己肯定感の育成と多角的な承認**
温かい人間関係と安心感のある学級経営を基盤として、授業や学校行事の中で生徒一人一人の強みや工夫、努力の過程を教職員が適切に評価し、「自分が大切にされている」という自己有用感を育みます。

**○ 基本的生活習慣の確立（家庭との連携）**
就寝・起床時間の規則性向上と適切なスマートフォン等利用ルールの確立に向け、保護者と調査結果を共有しながら「家庭でのスマホ利用ルール」等の啓発活動を進めてまいります。